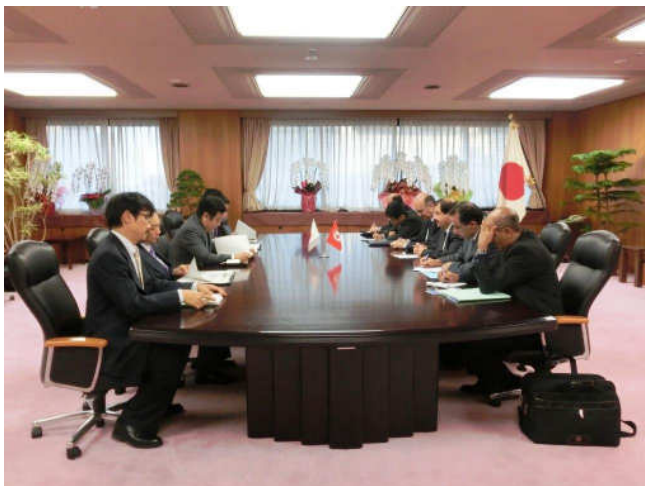


ベッタイエブ投資・国際協力大臣の来日

国際通貨基金・世界銀行年次総会が 2012 年 10 月 9 日から 15 日まで東京で開催され、リヤド・ベッタイエブ投資・国際協力大臣を団長にチュニジアの代表団が総会出席のため来日しました。

今回の訪問期間中、枝野幸男経済産業大臣始め日本政府要人との会談の機会が得られました。枝野大臣との会談では、チュニジア革命（自由と尊厳の革命）後、国が進めている民主化プロセスの進展状況を説明、日本からチュニジアへの投資を奨励するための最善の方策が話し合われました。



ベッタイエブ大臣は、浜田和幸外務大臣政務官との会談で、チュニジアが抱えている政治・経済問題、とりわけ 2013 年夏に予定されている総選挙、2011 年 1 月 14 日革命後の新憲法制定および国内の投資環境について話し合われました。

また網屋信介財務大臣政務官始め、国際協力機構（JICA）、経団連、国際協力銀行（JBIC）、日本貿易振興機構（JETRO）の要人との会談も行われました。

上記の会談は両国間の相互協力およびチュニジアへの JICA を始めとする日本の資金援助プロジェクトのさらなる推進、日本からチュニジアへの投資促進を活発化させるための方策を話し合う機会となりました。

この他、ベッタイエブ大臣は世界銀行のジム・ヨン・キム総裁と会談。キム総裁は革命以来チュニジアが進めている政治・経済改革への支援、とりわけチュニジアの政治的移行期の財政・技術支援への世界銀行の意向を表明しました。